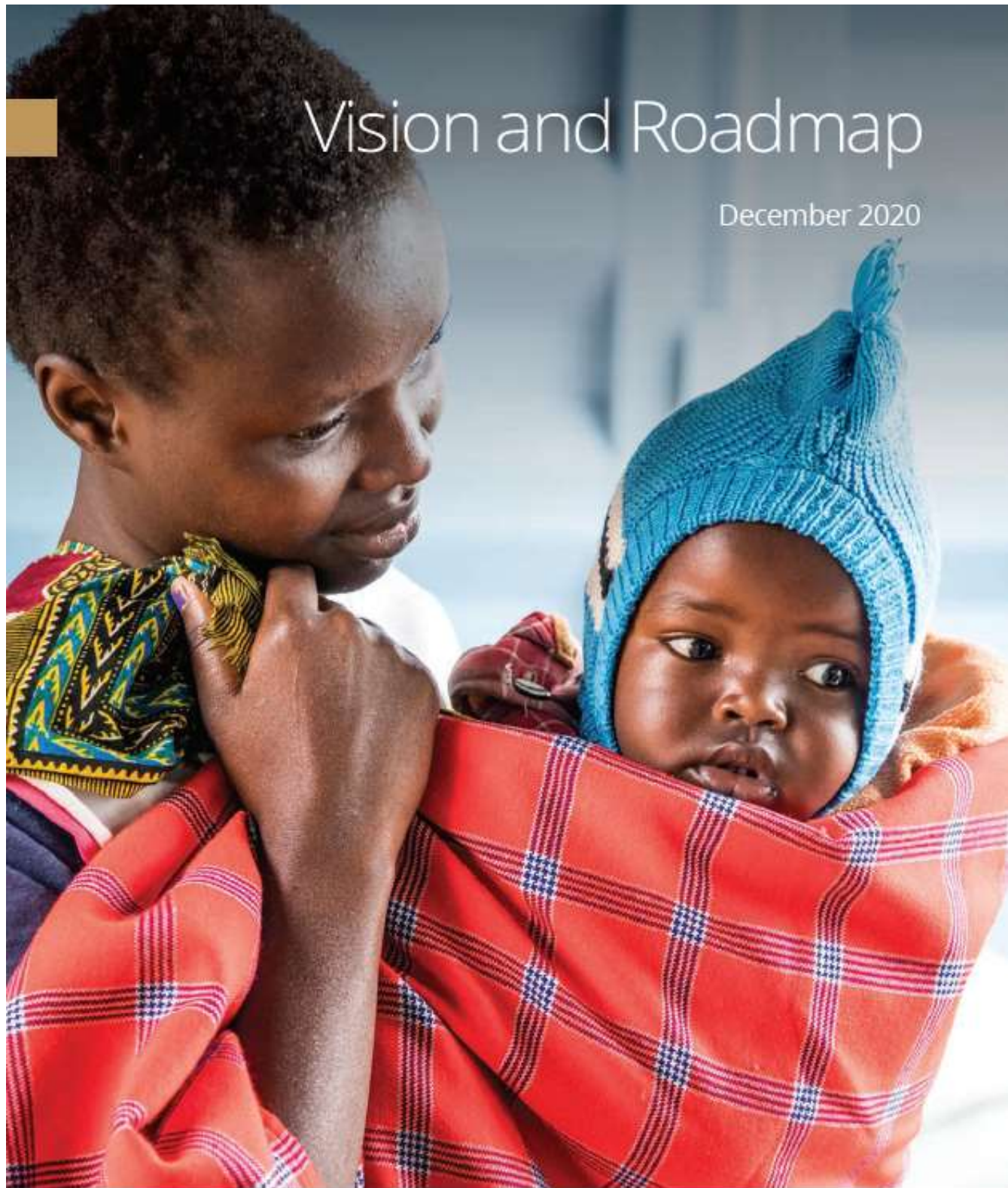


Vision and Roadmap

December 2020



NJPPPによる仮訳

TOKYO
**NUTRITION
FOR GROWTH**
SUMMIT 2021

Food, Health, & Prosperity for All

良い栄養

は、あらゆる場所で、すべての人にとって

の基本的なニーズです。すべての女性と子供たちが健康で生産的な生活を送るのみ必要な栄養が得られ、家族や地域社会を育て、世界をより大きな経済的繁栄へと導く世界を思い描いて下さい。

栄養は私たちの健康を支えてくれます—私たちの健康と未来の世代の健康の基盤を提供します。

栄養は、私たちの野望を叶えてくれます—子供たちが学ぶ準備ができて、学校に行き、学校で生活し、より良い仕事につくことができます。

栄養は私たちの進化を後押しします—総合的知力への投資は、より生産的な労働力と経済の繁栄を意味します。

栄養は持続可能な開発目標（SDG）を促進します—栄養不良を回避することは、17のSDGのうち少なくとも12を達成し、誰も取り残されず、健康で繁栄し、安定した世界を育むことができます。

栄養への投資は、世界の健康と開発における最良の経済活動の1つでもあります。栄養に1ドルを投資するごとに、16ドルが地域経済に還元されるのです。

COVID-19による地域、国家、世界の健康、食料、経済システムへの混乱は、すでに世界の貧困に大きな影響を与えています。Institute for Health Metrics and Evaluationの推計によると、COVID-19により極度の貧困はわずか数ヶ月で7%増加し、20年間の進展に終止符を打ちました。3,700万人が極度の貧困ラインを下回っています。

パンデミックは他に類を見ない世界的な健康危機を引き起こしましたが、食料安全保障と栄養危機の複合は、最終的には、COVID-19自体による直接的な健康への影響よりもさらに深刻な結果をもたらす可能性があります。栄養不良への影響は、特に低中所得国やすでに世界の食料不安の60%を占めている女性や女兒に影響を与える恐れがあります。世界のGDPが1%低下するごとに、発育不全の子どもがさらに70万人増えると予想されています。Standing Together for Nutrition (STfN) は、タイムリーな行動がなければ、さらに930万人の子どもが消耗症になり、260万人の子どもが発育不全に陥り、210万人の母親の貧血が発生し、300万人の子供が低BMIの女性から生まれると予測しています。また2022年までに、5歳未満の子供16万8,000人が追加で死亡します。特にアフリカでの限られた進展の中で、発育阻害と消耗症の負担はすでに高いものとなっています。

COVID-19は、迅速な対応に加えて、長期的な投資とコミットメントを必要とする長年の問題を悪化させています。今こそ行動の時です。

成長のための栄養行動の年の開始

COVID-19によって、栄養不良に取り組むための追加投資を動員するために2020年に予定されていたイベントの延期や中止が余儀なくされています。これには、成長のための栄養（N4G）オリンピックのスプリングボード・モーメントや、2020年12月に日本政府が主催するサミットなどが含まれます。日本政府は2021年後半にサミットを開催することを約束していますが、急速に変化する世界的な状況により、栄養のための資源を動員し、サミットに先立つ主要なイベントを通して栄養を統合することの緊急性が高まっています。

行動の年は、COVID-19パンデミックと国連の栄養不良に関する行動呼びかけに対応した12月の立ち上げイベントで幕を開けました。今年は、2021年9月に開催される国連食料システムサミットと、2021年後半に日本で開催される「成長のための東京栄養サミット」で締めくくられます。以下の表に示されているように、4つの重要な誓約の瞬間が特定され、年が進むにつれてさらに多くのものが特定される予定です。

共に、それぞれの重要な誓約の瞬間は、栄養に関するコミットメントを補完し、COVID-19への対応と長期的な開発の優先事項の両方として、栄養に関する私たちの野心を実現するために必要なものについて、相互に強化する物語を提供します。

* データはNature Foodが検討中。この論文は現在プレプリントで入手可能です。

重要な誓約の時

時期	N4Gイベント	主催	テーマ（暫定）
2020年12月	N4G成長のための行動の年の開始	カナダ政府及びバン グラデッシュ政府	COVID-19の影響に対処し、より幅広くジェンダー平等を支援し、女性と子供の健康を改善するための栄養に関する1年間の行動の開始
2021年7月	ゴールキーパーズ東京 （暫定）	ビル・メリンダゲイ ツ財団	女性と子供の栄養における持続可能な行動
2021年9月	国連食料システムサミット	国連	すべての人々にとって安全かつ手頃な価格で栄養を提供するための食料システムの強化
2021年12月	東京栄養サミット2021	日本政府	すべての人々への食料と健康と繁栄： 栄養に関する1年間の行動の集大成

N4Gの行動の年は、より健康的で栄養価の高い未来に向けた新しい競争、つまりすべての国であらゆる形態の栄養不良を終わらせるための競争の始まりを示しています。SDGsが要求するように、これまで以上に、最も脆弱な人々を含むすべての人が2030年までに安全で手頃な価格の栄養価の高い食品にアクセスできるようにする必要があります。

成長の進歩：SDGsの最後の10年間で勢いを維持する

過去10年間、世界のリーダーとグローバルコミュニティは、より良い栄養の力を認識してきました。

- ・ 2012年、世界保健総会では、194カ国が史上初の世界の栄養目標に合意しました。
- ・ 2013年、ロンドンで開催された最初のN4Gサミットで、110人の利害関係者が少なくとも2,000万人の子どもの発育阻害を防ぎ、2020年までに少なくとも170万人の命を救うことに合意しました。ドナーは、栄養不足に取り組むために40億ドル以上の新たなコミットメントを発表し、2013年から2020年の間に栄養に敏感な補完的な投資に190億ドルを確保しました。
- ・ 2015年、世界の指導者は、SDGsの一環として、2030年までに「あらゆる形態の栄養不良」を終わらせることを約束しました。
- ・ 2016年、国連総会で、すべてのアクターがあらゆる形態の栄養不良を終わらせるための取り組みを設定、追跡、達成するためのツールとして、「栄養に関する行動の10年」が開始されました。さらに、ブラジル政府は、2回目のN4Gの機会を記念するイベントを開催しました。
- ・ 2017年、ミラノで開催されたグローバル・ニュートリション・サミットでは、政府、市民団体、民間慈善団体、民間セクターが、総額34億ドルの金融・政策コミットメントを行いました。
- ・ 今日、あらゆる形態の栄養不良を終わらせるために、61カ国がScaling Up Nutrition (SUN) 運動をリードしています。

過去10年間の進歩は、SDGsの最後の10年に入るに当たって、私たちが維持すべきコミットメントと、行動を反映しているのです。

高まる緊急性：未完成の目標を達成するとともに、新たな課題に備える

大きな進展が見られる一方で、より行動を加速させるべき緊急の課題もあります。気候変動は、いまやすべての地域が直面している最大の課題の1つであり、肥満と低栄養は、複雑に関係しながら併存しています。食生活は変化しつつありますが、食料システムは温室効果ガスの要因であり続けています。栄養、世界の食料システム、気候変動との関係は、国際社会の中では無視できません。

食料システムと地球への需要が増大し続けているため、世界は2025年の世界保健総会の栄養目標と、2030年までにあらゆる形態の栄養不良を終わらせるためにSDGsによって設定された目標に向けて、決して順調に進んでいるわけではありません。2025年の期限が近づく中、子どもの死亡者の半数近くは栄養不良によるものです。飢餓は今も増加しており、健康的な食事は未だに多くの人に届いていません。貧しい食生活は、世界中の死亡の主要な危険因子であり、タバコ、高血圧、その他の健康上のリスクを超えて、世界中の5人に1人の死亡の原因となっています。

世界の3人に1人が何らかの栄養不良（低栄養、肥満、過体重、微量栄養素欠乏症）に苦しんでおり、最近の流れでは2人に1人が2025年には栄養不良になると見込んでいます。栄養不良に起因する生産性と医療費の損失として、世界経済に年間3.5兆ドルの費用がかかりますが、これらの損失のほとんどは予防可能なのです。2013年にロンドンで行われた財政的コミットメントは2020年に期限切れになるので、栄養不良の流れを変え、経済成長を活性化するための人的資本を構築するには、新たな資源の流入と大胆な行動が緊急に必要で

す。栄養への投資は、健康と経済の発展に大きな長期的な影響を与えるのと同様に命を救い、発育阻害、消耗を防ぐ点で、すぐにリターンがあります。

成長するパートナーシップ:影響を与えるためのセクターとステークホルダーの調和

N4Gの行動の年は重要な時期です。母子の栄養に関する世界保健総会の目標を達成するためにはもうわずか4年しか残っていません。そしてSDGsの達成までは9年。これらの目標を達成するには、栄養に対する世界的な投資の大規模な拡大が必要であり、政府、ドナー、民間セクター、市民社会は、取組みを加速化する革新的な方法を見つけるためにステップアップしなければなりません。

2030年までにあらゆる形態の栄養不良を終わらせるための競争に勝つためには、最も脆弱な人々のためにより良い健康、栄養、食事を提供する保健システムと食料システムの変革が必要です。低栄養への取組みと肥満や食事関連疾病の世界的な蔓延を回復させる活動への集中は、どちらも人的資源を注ぐので緊急に必要とされています。何より、この競争に勝利するには、世界が最も脆弱な人々の栄養必要量を優先させる必要があります。

N4Gの行動の年は、2020年12月14日にカナダ政府が主催する打ち上げイベントで幕を開け、東京N4Gサミットに向けた行動に拍車をかけました。行動の年の成果は、国連「栄養に関する行動の10年」とSDGsの目標の達成を加速するように設計された2021年のコンパクトにまとめられます。

サミットで行われるコミットメントは、3つのコア分野に焦点を当てます (6ページの詳細に記載)。

1. 健康：健康システムにおける栄養サービスへの投資は、より良い幸福とより公平な発展につながる可能性があるため、栄養をユニバーサル・ヘルスカバレッジに統合します。
2. 食料：世界が生産し消費する食品は人と地球の両方に影響を与えることを認識し、健康的な食事と栄養を促進し、生産者の生計を確保し、温暖化防止に貢献する食料システムを構築します。
3. 強靭性：暴力や不安定な状況の影響を受ける人々は特に栄養不良の影響を受けやすく、これらの環境の幼児は特別な注意が必要であることがわかっているため、脆弱で紛争の影響を受けた状況で栄養不良に効果的に対処します。

データ駆動型の説明責任を促進し、新しい投資を確保し、上記のコア分野全体で削減された栄養資金調達革新を推進します。

良好な栄養は、経済的および社会的発展の中核にあり、あらゆる場所のすべての人々にとって、不平等を減らし、貧困をなくす鍵となります。行動の年は、女性や子供が健康的な食事にアクセスできなかったために最大限の可能性に達することを妨げられない2030年の共通ビジョンに向けて、より大きな行動を起こす機会です。一緒になって、命を救い、人生を変え、人間の可能性を解き放ち、この世代、そしてこの先の世代のための永続的かつ変革的な遺産を作成することができます。

有意義なコミットメントの確保: コア分野

栄養の議題の広範な性質を考慮して、日本政府は、国連「栄養に関する行動の10年」とSDGsを支援する永続的で変革的な遺産を作成する主要な分野に焦点を当てたいと思います。そこで日本は世界的なリーダーシップを発揮できます。

実施機関、国連機関、ドナー、慈善団体、多国間機関、企業、学界の研究コミュニケーション、市民社会にまたがるグローバルな専門家が集まり、5つのワーキンググループのコア分野におけるSMARTの取り組みを特定しました。5つのワーキンググループのそれぞれからの幅広い推奨事項が図1に概説されています。



図 1: コミットメントの領域

成長のための東京栄養サミット2021における安全保障上の意義ある取組み

1. 健康 :

持続可能な開発のために、栄養をユニバーサル・ヘルスカバレッジに不可欠なものにします。

コミットメントは、医療システムの6つの柱（医療サービスの提供、医療従事者、健康融資、医療情報システム、必須医薬品へのアクセス、リーダーシップとガバナンス）を中核に構成できます。コミットメントは、例えば、栄養関連の健康サービスと製品が手頃な価格でアクセス可能であり、健康システムを通じて適切に管理されていることを保証したり、GDPの適切な%に向けて公衆衛生支出を増加/維持したりすることができます。

2. 食料 :

安全で健康的な食事と栄養を促進し、生産者の生計を確保し、気候変動に配慮した食料システムを構築します。

栄養、気候、経済目標を統合するためには、首尾一貫した政府の食料システム戦略と政策が必要です。2021年のコミットメントには、あらゆる形態の栄養不良に取り組む優先行動に関する企業、ドナー、市民社会、国連および政府による誓約が含まれます。この作業は、開発中のエンゲージメントの「成長のための栄養」原則に沿って行われます。適切な目標には、微量栄養素が豊富な食品の入手可能性と手頃な価格の向上、栄養強化補助食品、および消費者の選択を促進するための情報の拡大が含まれます。

3. 強靱性 :

脆弱で紛争の影響を受けた状況で栄養不良に効果的に対処する。

紛争と脆弱性の影響を受ける国では、特に回復力の構築と準備に関して、目標を設定した複数年の栄養政策と計画が不可欠です。

2021年のコミットメントは、適切で柔軟な資金調達と社会保護プログラムを通じて、低体重を含むあらゆる形態の栄養不良の撲滅に焦点を当てることができます。これにより、コミュニティは衝撃やストレスに対する回復力を構築し、人道的/開発的格差を埋め、政府部門、開発、および人道的関係者間の連携を強化することができます。

横断的テーマ

4. データ駆動型の説明責任の促進 : すべてのワーキンググループで、より良いデータ、測定、および説明責任は、栄養に対するより効果的な資金調達を促進し、誰も取り残さないように公平な進歩を促進するために不可欠です。「国際栄養レポート」、「栄養指標へのアクセス」、「SUN共同年次評価」、「国連栄養のための行動の10年の報告メカニズム」など、コミットメントを保存し、進捗状況を報告するメカニズムがいくつか存在します。東京N4Gサミット2020に先立ち、これらのメカニズムがコミットメントを合理化された方法で監視する方法を検討することが重要です。SMARTコミットメントに関するガイドが作成され、コミットメント作成者をサポートするとともに、すべての利害関係者の「エンゲージメントの原則」がサポートされます。

5. 栄養資金調達における新規投資の確保と革新の推進 :

2015年以降に確立されたグローバルな投資フレームワークを特に考慮して、国内の資金調達およびその他の資金調達の大幅な増加が2020 N4Gコンパクトの中核です。

2020年のコミットメントには、革新的な資金調達メカニズムと触媒的資金、および栄養に敏感な資金調達への焦点の拡大も含まれます。同時に、影響力を最大化するために、データの改善と栄養のための経費の効率化に重点を置くことが重要です。

TOKYO NUTRITION FOR GROWTH SUMMIT 2021 — ROADMAP

